



# てらるる



2022年  
1月  
No.889

■発行所 ■  
日本福音ルーテル教会事務局広報室  
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1  
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト ■ <https://jelc.or.jp/>  
■E-mail ■ [jelc@jelc.or.jp](mailto:jelc@jelc.or.jp)

■発行人 ■ 李 明生 koho@jelc.or.jp  
■印刷人 ■ 精文堂印刷株式会社  
■定価 ■ 1部 40円(郵税を含む)  
■振替口座 ■ 00190-7-71734

## 説教 「日々新たにされて」

日本福音ルーテル小石川教会・板橋教会 牧師 徳野昌博

「だから、わたしたちは落胆しません。たとえわたしたちの『外なる人』は衰えていくとしても、わたしたちの『内なる人』は日々新たにされていきます。」

コリントの信徒への手紙 二 4・16



私たちは、「贖われし罪人」です。ですから、日々新たにされて生きるのです。

イザヤ書43章で、天地万物を創造された主なる神様が、いきなり、何の条件もなく付けず、「恐るな、わたしはあなたを贖う。あなたはわたしのもの(1節)」と言っています。まことに驚きです。

「贖う」とは、神様が、神のものとなった私のすべてを引き受けてくださる、責任をとってくださるということなのです。

神様は、「わたしもこうにも言うことを聞かない私のために、イエスキリストが十字架で死んで私の罪を贖ってくださいました。イエス様の十字架

架によつて、決定的に重大な問題が解決されたのです。創造主である神様に背いているという、これ以上、私たち人間にとつて重大、深刻な問題はありませぬ。その罪を、父なる神様は御子イエスキリストにおいて解決してくださったのです。これが、私たちに与えられた救いです。まことに有り難いことです。まことに有難いことださるのです。それが「名を呼ぶ」ということです。

「あなたはわたしのものだ」と言われる主なる神様が、私たち一人一人の名を呼んで、私のすべてを自分のこととして引き受けてくださっています。その絶対の保証としてのイエスキリストの十字架です。

救いは、私たち人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

力あるものも、高い所にいるものも、低い所にいるものも、他のどんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、わたしを引離すことはできないのです(38-39節)」と言っている通りです。ですから、たとえ私たちの体や心がどんな状態になつても、私たちは決して滅びることではなく、神様の愛の中にちゃんと、しっかりと受けとめられているのです。

「あなたにはわたしのものだ」と言われる主なる神様が、私たち一人一人の名を呼んで、私のすべてを自分のこととして引き受けてくださっています。その絶対の保証としてのイエスキリストの十字架です。

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

神様は、無条件で、「わたしはあなたを贖う」と約束してくださっています。神様の、その絶対の恵みを知り、信じてくださるべき、それによつて本当に喜ぶ、平安に生きることができるといふのは、礼拝を通して与えられる恵みです。

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「門番は羊飼いは門を開き、羊はその声を聞き分ける。羊飼いは自分の羊の名を呼んで連れ出す。」

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、



レンブラント作「写字台の聖パウロ」(1629-1630年) ニュルンベルク・ゲルマン国立博物館所蔵

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

「わたしは、私たちが人間の側のどのような事態、どのような問題によつても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、



伊藤早奈

### ②「音」

「門番は羊飼いは門を開き、羊はその声を聞き分ける。羊飼いは自分の羊の名を呼んで連れ出す。」

(ヨハネ福音書10:3)

なんだかうるさく聞こえる物音でもその原因や主(ぬし)がわかり物音をさせるその理由までわかるとうるさく感じなくなつたことありませんか?私はありません。毎朝聞こえる小鳥の鳴く声が甲高くうるさく感じてました。先日観ていたテレビ番組で私が毎日聞いてうるさく感じていた小鳥の声を解説されていた何の小鳥がどのような理由で鳴いていたのか分かりました。その小鳥の正体と鳴く

理由がわかつた途端、朝聞く「うるさい音」が「かわいい鳴き声」に変わりました。

大切な大切な存在なら尚更だろうなと思って思いますが、こんなことも思っています。ある食品売り場で、きつと迷子になつたんだらうなあと思ふ様な小さな子が「ママ」と呼びます。するとどこからか見えないのに「なーに?」って聞こえる「ママどこにいるの?」と子どもが安心したように走り出す光景です。

きつと神様も同じだろうな、いやもつと一人一人を大切にされているのかもかもしれないと思うと私の声も神様にとつてはうるさいその他大勢の声ではなく大切な大切なかけがえのない一人の私という存在の声なのかなって嬉しくなります。

そして私を大切にしてくださる神様の声は、いつもあなたと共にあなたを包んでいて下さるから、あなたに心地良い音なのでは。

**JELA Online Charity Concert 21→22**

JELA クリスマス&ニューイヤーオンライン・チャリティコンサート 2021→2022

主催：一般財団法人 JELA  
2021/11/27(土)~2022/1/15(土)  
毎週土曜日12:00から

JELA公式YouTubeチャンネルにて無料配信





議長室から 大柴謙治

「ひとは世界にたいして二つのこととなった態度をとる。それにもとづいて世界は二つとなる。ひとの態度は、そのひとが語る根源語の二つのこととなった性質にもとづいて二つとなる。根源語は孤立した語ではない。複合

梅ヶ島ルーテルキャンプ場で、学生時代にある方から教えていただいたブーバーの「我と汝」。この本との格闘を通して私は対人関係の基本を学んできました。原著「Khandur (1923)」がドイツ語で出版されて来年でちよう

### 「われとなんじ」と「われとそれ」

うに始まり、とても難解で18歳の私には全く歯が立ちませんでした。以来46年間、繰り返し読む中で見えてきたことは、世界は私の語る根源語の二重性に応じてその姿を変えていくこと。へブル語の「ダバール」という

語は「言葉」を意味すると同時に「出来事」を意味します。言葉を語ることは出来事が起こることでもある。根源語「われーなんじ」は相手を人格的な応答関係の中に捉えるダイアローグ的で全人的な態度。根源語「われーそれ」は相手を徹底的に自分の経験・利用の対象として捉えるモノローグ的な態度。前者の例としてブーバーはソクラテス、ブツダ、イエス、ゲテを、後者の例としてナポレオンを挙げます。もちろん、物質が悪ではないように「われーそれ」を語ることも自体は悪ではありません。「われーなんじ」関係は過ぎ去つてしまつたと「過去の記憶」という「それ」になつてしまふ。彼はそれを「大いなる悲哀」と呼びます。「われーなんじ」の出会いが天からの恩寵であつて人間が探し求めることによつて獲得できるものではありません。「すべての生の生とは出会いである」。

ユダヤ人思想家であつたブーバーは旧約聖書のドイツ語翻訳者としても知られています。「われーなんじ」の延長線上には「永遠のなんじ」が垣間見えるとか「個々の「われーなんじ」の出会いの延長線は「永遠のなんじ」の中で交わる」という表

現から分かるように、ブーバーは「なんじよ(DU)」と親しく呼びかけてくださる神を「永遠のなんじ」と呼び、個々の具体的な「われーなんじ」の出会いを通して永遠のなんじが私たちに呼びかけておられると見ているのです。

新しい年も、耳と目と心をつにしてそれらを十分に用いて神の声に聴いてゆきたいと念じています。この主の年2022年が、皆さまお一人お一人にとって「永遠のなんじ」の豊かな対話という祝福のうちに置かれた1年でありませうお祈りいたします。



### 世界の教会の声

浅野直樹 Sr. 世界宣教主事 市ヶ谷教会・スオミ教会牧師

#### 気候正義を求めるLWFユース

11月英国のグラスゴーでCOP26が開催され、地球の気候変動対策が議論されました。LWFは2011年来国連の気候関連会議に青年代表を派遣していますが、今回の会議ではオンライン出席を含めると、7つのLWF区域すべてから

### 「教会讚美歌 増補」解説



⑩増補9番「天にいます父よ」・増補10番「主はヨルダンに来て」

讚美歌委員会 石丸潤一

（西日本福音ルーテル新田教会）

新しい年を迎え、皆さんいかがお過ごしでしょうか。私は、新年を迎える度に、新しくなることの期待感と、一方で、移りゆく時の中でも変えずに継続していくべきもの大切さを

思います。今回ご紹介する2曲は、神様から信仰者が与えられているその二つの相反することについて深く味わわせてくれるカテキズム・コラールではないかと思えます。

今回ご紹介する2曲は、関連性とリズム感を持つて、「主の祈り」の二つの祈りが私たちに何を教え、何を神様に求めさせるのかをよく知ることができるようになっている意図が込められています。

イエス様が教えてくださった「主の祈り」は、私たちの信仰生活に欠かせない、継続していくものです。であるからこそ、「小教理問答」とカテキズム・コラールを通して、いつも祈りの意味をかみしめながら、祈り続けることが大切ではないでしょうか。

増補10番「主はヨルダンに来て」は、洗礼の意味について教えるカテキズム・コラールです。1月の教会暦には「主の洗礼」を記念する主日が備えられています。この賛美は、イエス様の洗礼の場面を踏まえていますので、その頃に賛美されるのにも良い曲ではないでしょうか。

私たちは等しく罪の中に沈み、自分の行いでは浮上することのできない者です。しかし、神様の恵みを信じて洗礼を受ける時、キリストの血潮が大波のようになつて私たちの罪を押し流し、罪の深淵から命の日々へと救い出してください。水のイメージが要所にちりばめられたこの賛美は、洗礼を通して、私たちの命が全く新しくされているというダイナミックな喜びのイメージを生き生きと感じさせてくれるでしょう。

LWFが、気候変動(climate change)とあわせて呼びかけているもうひとつの用語に「気候正義」(climate justice)があります。日本ではまだ馴染みが薄い言葉ですが、気候変動が環境問題だけでなく、倫理的、政治的問題でもあることを訴えています。経済大国による大量の排出ガスの影響で、排出量が少ない多数の国や地域が犠牲になつていくといった問題が顕在化しつつあります。COP26では、そうした地域の少数民族の役割も欠かせないという認識が得られました。



COP26に参加したLWFユースメンバーら

青年たちはグラスゴーの街へ繰り出し、各国リーダーに向けてさらに徹底した対策をと呼びかけました。そして青年や周辺国のリーダーにも決議に参加できる仕組みを作るよう求めました。会議に参加したある青年は次のように述べています。「信仰をもつ者としては今回の会議に物足りなさを感じますが、だからといって落胆してはいけません。エキムニカルなパートナーとして、これからも神様が創造した世界を大切にしながら、気候正義の実現のために活動を続け、大変な被害を被っている人々に寄り添っていきま

す。私たちはこれからも世界の教会に向けて声を挙げていきます。」 参考記事のURL https://www.lutheranworld.org/news/cop26-lwf-delegates-disappointed-not-dishheartened-lack-results



### 第3回オープンセミナー報告

河田優

(ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校  
チャプレン)

11月14日(日) Zoomを用いて第3回神学校オープンセミナーが開催されました。今回も日本福音ルーテル教会(JELC)、日本ルーテル教団(NRK)の両神学校教育委員会と日本ルーテル神学校の共催であり、JELCから3名、NRKから1名の参加者がありました。

第1部は、神学校での学びと生活についての紹介が中心です。特にミニ講義では平岡仁子牧師がコロナ禍におけるオンライン礼拝について取り上げ、神学校で学ぶ礼拝学は私たちの礼拝生活に直接結びついていることを話されました。

神学校1年生2人がそれぞれの証しも含めて閉会礼拝を行い、祈りを合わせた。

頂きました。始まる前はどのようなことを知れるのか、学べるのかと胸を躍らせておりましたが、実際はその期待を上回るほどの有意義な時間となりました。特に神学生や牧師への質問コーナーでは先に提出していた質問全てにお答えしていただき、良い情報を得ることが出来ました。ここで得たことを糧に神学校での学びの準備をしていきたいと考えております。このような機会に私を送り出して下さった崔大凡先生や室園教会の方々、企画をして下さった神学校教育委員会と神学校

の先生方に感謝します。(中山隼輔・JELC室園教会)

第2部では、神学生が考えた楽しい企画に2人の若手牧師も加わり、互いの紹介やミニゲーム、質問コーナーなど和気あいあいと交わりが進められていきます。最後は、

春も予定はありません。そのような状況の中で、教会と神学校が協力して、「献身者を求める祈り」の動画を作成したり、礼拝で「献身者を求める祈り」をしていただくようにお願いしたりしてきました。

私は洗礼を受けて以来、献身への迷いがあったため、神学生オープンセミナーに参加させていただけました。模擬講義では現代のコロナ禍を通して改めて礼拝の意義について考える機会を与えられ、交流会では牧師先生や神学生の方々との貴重な交わりの時を持つことが出来ました。さらに牧師を目指す上での大切な気づきと励ましも与えられました。オープンセミナーに参加して、

今まで漠然としていた献身への思いが少しだけ形づくられた気がします。今後どうなっていくかはわかりませんが、神様に祈りつつ歩んでいきたいと思えます。(鷲見和哉・JELC大阪教会)

### 集計表男女区分の廃止について

小泉基

(社会員長・函館教会牧師)

昨年11月16日の全国常議員会で、「集計表における人数表記の件」が決議され、来年度の新しい集計表から男女区分をなくすることが決まりました。

分をなくしたり、週報等での兄弟呼称を「さんづけ」に統一した、という報告も聞かれるようになっていきました。委員会がそうした背景をより多くの人に知っていたらいいなと2020年3月に発行したのが「多様な性を知るために」という小冊子です。ひとくちに性的マイノリティといっても、その内実は、体の性、性自認(心の性)、性的指向、表現する性など、多岐にわたっています。多様な性のあり方を知りながら、そうした方々が安心して受け入れられる教会形成をしていきたいという願いがありました。また教会は、歴史的に同性愛を罪として断罪してきた経緯があり、それはルーテル教会が1988年に発行した「教員ハンドブック」にも反映されてしまっています。委員会の小冊子の発行と、常議員会への要望書は、そうした教会の歩んできた歴史に対する反省の上になされたものです。常議員会では、男女比率がわからなくなることで女性の社会進出を促すという観点から、男女の他に「X」欄を設けてはどうか、教会の宣教計画の立案に影響するのではないかといった意見も出されましたが、痛みを覚える方々に寄り添う

ことを優先しようとする意見が大勢を占めました。もちろん、この決定が何かをすぐに解決するものではないと承知しています。これをきっかけに、教会内でさまざまな学びや取り組みがすすめられていくことが、委員会として願っていることですが、どうぞご協力お願いする次第です。(なおパンフレット「多様な性を知るために」は、日本福音ルーテル教会インターネットサイトでPDFが公開されていますのでご利用ください。また冊子版も事務局に多少残部があります。必要な方は事務局までお問い合わせ下さい。)

### 献身者がおこされるために

#### ―取り組みの紹介とお願い―

三浦知夫

(神学教育委員長)

東京池袋教会牧師  
小林千恵子(大垣教会)  
徳弘由美子(岐阜教会)

学校の先生になりたいと思つたら、大学などに入学して、教員免許を取得できる学びを始めようとするでしょう。では、牧師になりたいと思つたらどうでしょうか。同じように神学校に入学して、その準備を始めますが、その前にキリスト者

として教会生活を送っているという前提があつて、所属している教会の牧師に推薦してもらわなければなりません。牧師は他所から採用したり派遣されるのではなく、私たちそれぞれが教会の中からおこされるからです。各教会が献身者を神学校に送り出さなければ、牧師は誕生しないということでもありません。昨年、私たちの教会に新しい牧師が与えられませんでした。今年の

春も予定はありません。そのような状況の中で、教会と神学校が協力して、「献身者を求める祈り」の動画を作成したり、礼拝で「献身者を求める祈り」をしていただくようにお願いしたりしてきました。

そんな中、大垣教会と岐阜教会信徒の有志の方々が「自分たちにも何かできないか」と祈り考え、写真のようなフレームを作成してください。御言葉とクイリングという手芸の十字架、そして呼びかけの言葉が記されたフレームです。各教会の集会所の壁や玄関に下げ

たり置いたりし、いつも教会の方々の目に留まり、献身を呼び掛け考えらるきっかけになればと願つてのことです。この運動を受けて、私とこれら有志の方々からお願いがあります。この企画をお手伝いいただけないでしょうか。この取り組みを、神学教育委員として喜びつつ、祈りと奉仕が全国の教会に広がっていくことを願つてお祈りです。教会でも個人でも構いません。案内やフレームの個別の封入や発送を全国一



わたしがここにいます。わたしを遣わしてください。祈りましょう。宣教師がここにされるように。宣教師の志を継ぐために。キリストの弟子となるために。日本福音ルーテル教会有志。イザヤ6:8

2021年7月31日付で引退されました太田一彦先生について、2022年度教会手帳住所録の《引退》欄への掲載がなされております。お詫び申し上げます。お詫び申し上げます。2022年度教会手帳住所録20頁に以下を追記ください。

2021年7月31日付で引退されました太田一彦先生について、2022年度教会手帳住所録の《引退》欄への掲載がなされております。お詫び申し上げます。お詫び申し上げます。2022年度教会手帳住所録20頁に以下を追記ください。

太田一彦  
420-0886  
静岡県静岡市葵区大岩  
2-41-14



# 第7次総合方策の紹介(9)

事務局長 滝田浩之

## ■方策本文より

### 第7次総合方策主旨

#### 5. 信徒の働き

##### (1) 信徒の役割

① 宣教の働きは、教職、宣教師だけに与えられたものではなく、教会の全信徒に与えられている。信徒は宣教の担い手であり、受け身の立場ではなく、積極的・能動的に福音宣教に参加する。信徒が牧師とともに宣教に具体的に参与する道筋を整える。

##### (2) 信徒の「相互牧会力」を育てることは教会成長にとつて大きな意味があることを確認し、具体的な研修プログラムを神学校と共同して検討する。

③ 宣教を推進する担い手としての自覚の育成について、各委員会等、その専門性を生かし、プログラムを策定し実施する。

④ 信徒説教者については、「信徒説教者実施要項」について、信徒の執事としての働きとしての「み言葉の奉仕」として位置付けると共に、信徒の執事職(信徒奉仕者)をより幅広く教会の中で理解していくことも含めて、改正を検討する。

⑤ 配餐補佐についても「信徒説教者実施要項」の中で、神学的な課題についても整理した上で適切に位置付けていく。

⑥ 教会の執事的働き(管理や事務など)については、個々の教会、あるいは教区内で今後、有給の可能性も含めて検討され位置づけられていくものと考ええる。

#### 6. 教職の役割

##### (1) 現任教職

現在、教職の働きは、多重責任・役割多様化、孤立化の傾向にある。教職としての守備範囲が解りづらくなつており、職務の明確化が求められる。

① 宣教する教会であるためには、それぞれの教職が宣教への使命と職務を的確に果たすことが重要である。そのためにも神学的自己研鑽に取り組み、宣教と教会形成への責務を自覚することが求められる。

② 「教会力の成長」を促すことは教会の責任として捉え、本教会としても按手後、5年以内の教職については継続的な研修プログラムを神学校と共同して検討していく。

③ 人事配置については人事委員会がその実務を担っているが、教会財政も加味しつつ、全体的な教職力を図り、個々の教会、地区の将来像について教区の方角性を加味しつつ、常議員会の責任のもと確認していく。宣教拠点(2か所)教会、または施設(2か所)を一つの目安として用いることができる。

④ 牧師の重要な任務に「役員会の形成」を明記する。

役員会の成長こそ、教会力の回復につながることを確認する。

⑤ 職務を果たしていくために、健康管理への自覚的取り組みが必要であること認識し、必要な手立てを教師会と共に検討する必要がある。

⑥ 教職の立場を教会の制度と組織に正當に位置づけること共に、教職の質の向上を高めるために必要な機会を、本教会、教区及び教師会は適宜提供していく。

##### (2) 定年教職

① 資格 日本福音ルーテル教会の教職は定年制度に従って70歳を迎えて現職の務めから退いてきたが、これまでの実態と課題を整理した上で、「牧会委嘱規定を見直し、主任の委嘱についても検討する。また、定年後も「説教と sacrament」を行う資格を持つ者として、教区の主体的な判断の中で日本福音ルーテル教会の教職としての責務を果たすことを期待する。

② 働き 定年教職が教区及び関連施設の要請に応じ、期間を限定して牧会委嘱、巡回説教者、チャプレン等を担い、それによって宣教の働きが補われ、支えられていることに、全体教会として感謝する。

定年教職が教区及び関連施設の要請に応じ、期間を限定して牧会委嘱、巡回説教者、チャプレン等を担い、それによって宣教の働きが補われ、支えられていることに、全体教会として感謝する。

確認されたところで、その具体的な担い手が確認されています。

このことを考える上で重要なのは「宣教の働きは、教職、宣教師だけに与えられたものではなく、教会の全信徒に与えられている」ということにつきま。

「全信徒祭司性」です。宣教は教職と信徒の共働の業であることを確認したいと思います。

第7次総合方策では、これまで「自明のこと」のように行われてきた信徒奉仕の働きを、教会の働きとして再確認していく必要があると考えています。教会はこれまで有形無形の信徒たちの働き、献財、祈り、奉仕によって支えられてきました。そしてこれからは、その支えがなしには教会は宣教の働きをなすことができません。一つ一つのそのような働きをきちんと確認して、次の世代に手渡していく。そこで大事なことは、今まで通りの形では手渡すことは難しいということだと思えます。変えられないもの、変えられないものを見定め、変えられるものは大胆に変えていくことが求められています。

同じように教職の役割も節目を迎えています。戦後、多くの宣教師とキリスト教チームの中で与えられた多くの牧師(両方合わせて200名)で支えられてきたルーテル教会は、現在、現役の牧師は80名となつています。この面からも持続可能な教職の働き方を考えていく時が来ているのです。

この共働の業を担う「役員会」の働きは、これからさらに大きなものになると考えます。同時に「役員会」がきちんと機能できるか否かが、その教会を組織として維持できるか否かも担っていることとなります。

## 第28期第15回 常議員会報告

事務局長 滝田浩之

11月15〜16日にオンライン会議にて行われた標記の件について報告いたします。

### (1) 協力金の件

2022年度から10%に戻す予定であった協力金ですが、2021年度のCOVID-19による非常事態宣言が想定以上に長引いたことを鑑み、引き続き8%に据え置くことが承認されました。但し、建築会計からの一般経常会計への繰入について協力金算定に含めないという措置については2021年度で予定通り終了とすることを確認しました。なお2023年度は10%に戻すことを予定しています。

### (2) 集計表の件

2021年度の集計表より教勢報告について男女の区別を廃止することが承認されました。詳しくは社会委員会からの報告をご覧ください。

またインターネット礼拝の出席者と対面による礼拝の出席者を区分して記入できるように集計表が変更されています。インターネット礼拝の出席者とは、基本的には主日礼拝にオンラインで同時参加くださっている方と理解しています。また二つのPCで複数の参加がある場合のカウンタについては個々の教会の判断に委ねたいと思います。

とすると、感染予防対策を徹底した上での開催となります。当然、感染拡大の中で開催が難しいということになれば更に延期ということも確認しているところです。

(4) ルーテル学院大学からの長期貸付の受入の件

ルーテル学院大学の積立資金の一部を、日本福音ルーテル教会の収益会計が長期貸付金として受け入れることを確認しました。このことによつて教会側は大学側に利息という形で支援することになります。教会としては予定されている銀行からの借入を減少させることで借入に伴うリスクを軽減できることとなります。契約内容については市況一般的な利息を適用することで教会と大学で合意が行われているところです。

### (5) 市ヶ谷耐震補強工事の件

定期総会での議案となした。市ヶ谷耐震補強工事については、市ヶ谷地区の市ヶ谷教会、八代教会、阿久根教会の主任牧師に病気休職から復職が承認されました。

市ヶ谷教会の主任牧師、小泉嗣沼(小泉)に嘱託任用での任用が承認されました。関満能牧師は9月1日付けで水俣教会、八代教会、阿久根教会の主任牧師に病気休職から復職が承認されました。

市ヶ谷教会の主任牧師、小泉嗣沼(小泉)に嘱託任用での任用が承認されました。関満能牧師は9月1日付けで水俣教会、八代教会、阿久根教会の主任牧師に病気休職から復職が承認されました。

2022年度 日本福音ルーテル教会 会議日程予定

2022年度			
月	日	会議名	場所
2	15~16	会計監査	市ヶ谷
	21~22	28-16常議員会	市ヶ谷
3	7	神学教育委員会(調整あり)	市ヶ谷
	11	ルーテル学院大学・神学校卒業式	三鷹
	21	教区総会	各教区
4	未定	ルーテル学院大学・神学校入学式	三鷹
5	3~5	第29回、第30回全国総会	市ヶ谷(予定)
	未定	LCM会議	未定
6	13~15	30-1常議員会	市ヶ谷
8	23~24	(予定)るうてる法人会連合総会	九州地域
10	5	教師試験委員会(調整あり)	市ヶ谷
11	14~16	30-2常議員会	ZOOM
2023年度			
月	日	会議名	場所
1	12	教師試験委員会	市ヶ谷
	12	教師試験	市ヶ谷
	13	任用試験	市ヶ谷
2	14~15	会計監査	市ヶ谷
	20~22	30-3常議員会	検討中
	26	神学校のタペ	未定
3	5	教職授任按手式	宣教百年記念会堂
	6	神学教育委員会	市ヶ谷
	8	新任教師研修会	市ヶ谷
	未定	ルーテル学院大学・神学校卒業式	三鷹
	21	教区総会	各教区